

千葉県国庫補助事業評価監視委員会

市川都市計画道路3・4・18号 浦安鎌ヶ谷線ほか1線について



平成21年11月4日(水)

市川市道路交通部 都市計画道路課

位置図

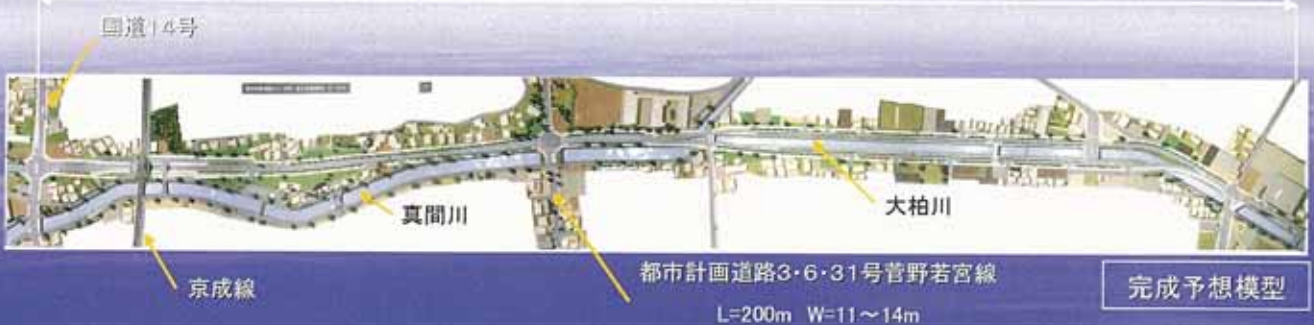


位置図



概要

都市計画道路3・4・18号浦安鎌ヶ谷線 L=1680m W=16~37m

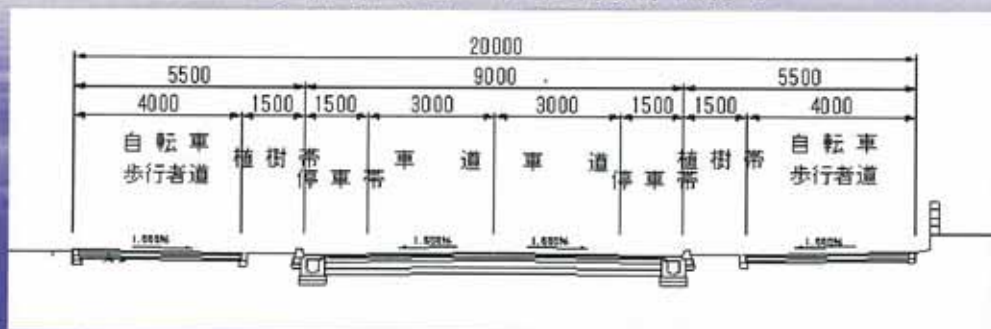


完成予想図(京成線直下横断部)

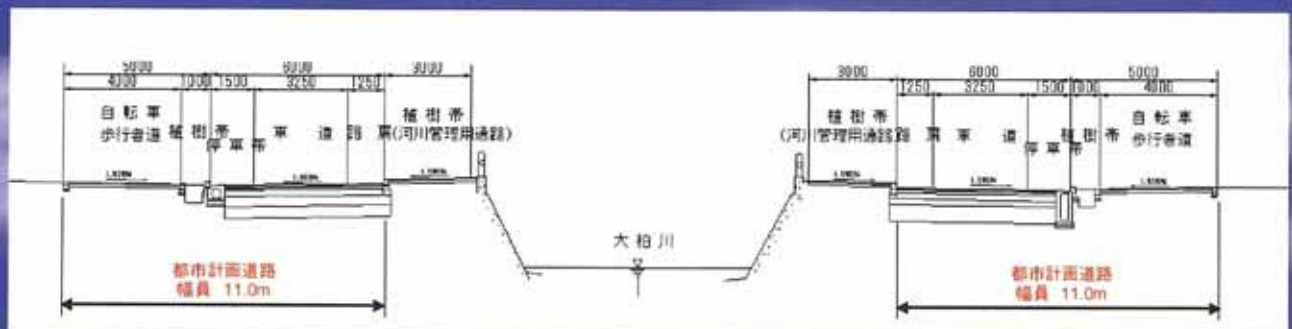
道路規格	第4種第2級
延長	1,680m(浦安鎌ヶ谷線) 200m(菅野若宮線)
幅員	16m~37m(浦安鎌ヶ谷線) 11m~14m(菅野若宮線)
全体事業費	169.5億円

概要

真間川沿い区間標準断面



大柏川沿い区間標準断面



事業の経緯

平成 7年 2月 都市計画決定の変更

平成 7年 7月 事業認可取得 用地買収に着手

平成16年11月 事業採択後10年を経過した
事業として再評価を受ける

平成17年 8月 工事に着手

事業の進捗(全体)

全体事業費	169.5億円
投資済事業費	116.9億円
進捗率	68.9%

平成21年度末予定

事業の進捗(用地)

用地確保率 **96.5%**

(平成21年10月時点)

「確保」とは、事業計画用地を

○市が取得している

○市川市土地開発公社が先行取得し、市が買い戻し予定

○県有地などの官地等、今後払下や移管等が確定している

などの状態

事業の進捗(工事)

京成線直下横断部

平成22年度より京成電鉄株
に施工委託し、着手する予
定である。

木株橋:完成



(仮称)大柏川
渡河部橋:完成



八方橋:工事中
平成22年度完成予定



(仮称)B1・B2橋:工事中
平成22年度完成予定



本北方橋:完成

長期化の理由と今後の進め方

【長期化の理由】

用地取得の難航により事業期間が長期化

- ・土地の価格の下落
- ・地権者の希望する代替地がない
- ・道路供用後の環境悪化に対する不安

【今後の進め方】

平成22年度 京成線直下横断部の施工に着手

↳ 事業用地の早期確保

平成27年度 完成

平成28年度 供用

事業の必要性 整備効果

- ① 周辺道路の渋滞緩和
- ② 救急・消防活動の向上
- ③ 広幅員自転車歩行者道の設置による自転車歩行者の安全性の向上
- ④ 踏切除却による事故の解消
- ⑤ 公共下水道の普及による河川等の水質環境の改善

事業の投資効果

① 費用

	事業費	維持管理費	合計
基準年	平成21年度		
基準年における現在価値C	185億円	1億円	186億円

② 便益

	走行時間短縮便益	走行経費減少便益	交通事故減少便益	合計
基準年	平成21年度			
供用年	平成23年度			
基準年における現在価値B	184億円	68億円	21億円	273億円

③ 結果

費用便益比(B/C)	1.5
------------	-----

再評価時との比較

	再評価時	再々評価時
評価実施年度	平成16年度	平成21年度
供用開始年度	平成23年度	平成23年度
総費用	222.30億円	186億円
総便益	383.49億円	273億円
費用便益比(B/C)	1.73	1.5

対応方針(案)

継続

【理由】

用地の進捗状況

- 用地の確保率は96.5%
- 土地収用法に基づく裁決申請の手続きに着手

工事の進捗状況

- 平成22年度中に橋梁(5橋)の本体工事が完成予定
- 平成22年度より京成線直下横断部の工事に着手予定

整備効果等

- 周辺道路の渋滞緩和等の整備効果あり
- 費用便益比 1.5 投資効果あり

要望等

- 市議会で本道路の「整備促進に関する請願等」等を採択(4回)